

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1年保育総合 保育アフタヌーン	幼児と人間関係	近内 愛子	
サブタイトル	人と関わる力をはぐくむ	単 位 数	1
授業形態	講義	出席要件	4/5 以上
開講時期	後期		
到 達 目 標			
<p>幼児期の人間関係をめぐる現代的課題及び幼稚園生活における人間関係の発達について理解する。 <到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人と関わる力の育ちがその後続く一人一人の人生を支える力となることを理解している。 2 幼児期の遊びや生活の中で育つ人と関わる力の発達について、教師との関係、幼児同士の関係、集団の中での育ちを観点として説明できる。 3 道徳性・規範意識の芽生え、協同について、発達の姿と合わせて説明できる。 			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育に対する情熱・使命感・責任感をもち、幼児の発達に即した援助を行うための専門的知識を習得する。 ・協働学習を通して、豊かな人間性を身につける。 ・カリキュラムマップの「保育を構築する」の1年後期に位置づいており、保育内容の中核をなす科目として確かな学びの構築を図る。 			
授 業 の 方 法			
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」の指導の基礎となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的知識を学び、幼児教育実習Ⅰや2年次に学ぶ「保育内容・人間関係」につながるように授業を展開する。 ・乳幼児期に育つ人と関わる力の発達、身近な大人との関係、教師との関係、幼児同士の人間関係、集団の形成について、グループ討議等アクティブ・ラーニングの授業展開により対話的・主体的に学ぶ。 ・振り返りシートを有効に活用し主体的に取り組ませる。振り返りの内容を受講者にフィードバックし、大事な内容や理解の不十分な内容については、受講者同士共有し理解を深めていく。 			
テキスト・教材・参考図書			
<p>参考書</p> <p>授業内容に応じて適宜指示する。</p> <p>幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018年</p> <p>保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館 2018年</p> <p>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 2018年</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人と関わる力を育むことの重要性を理解し説明できる。 2. 遊びや生活の中で育つ人と関わる力の発達について説明できる。 3. 道徳性・規範意識の芽生えについて発達の姿と合わせて説明できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 (60%) ・ノート、振り返りシート、レポート課題、グループ討議等を総合評価 (40%) 	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ol style="list-style-type: none"> 1. ノートは毎回持参する。 2. 授業には、主体性をもって参加する。 3. グループ討議等には、積極的に発言するとともに、友達の意見を傾聴し、学びを深めていく。 			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	<p><ガイダンス> <幼児期の人間関係をめぐる現代的課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、内容、進め方などを知る。 ・子どもを取り巻く環境、家庭生活の変化と人間関係をめぐる課題を理解する。 	<p>地域環境や家庭生活の変化を理解</p> <p>理解力</p>
2回	<p><0歳児から2歳児の人間関係の発達></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から2歳児の育ちと人との関わりを理解する。 ・発達に即した保育者の関わりについて考える。 	<p>人間関係の発達の理解し、援助のポイントを考察</p> <p>理解力・考察力</p>
3回	<p><3歳児から5歳児の人間関係の発達></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児から5歳児の育ちと人との関わりを理解する。 ・発達に即した保育者の関わりについて考える。 	<p>人間関係の発達の理解し、援助のポイントを理解</p> <p>理解力・考察力</p>
4回	<p><領域「人間関係」にみる人と関わる力を育む保育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」の「ねらい及び内容」をふまえて保育を構想する。 	<p>領域「人間関係」の基礎知識を理解</p> <p>理解力</p>
5回	<p><遊びや生活のなかで育む人間関係> 人と関わる喜び、満足感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活のなかで見られる、人と関わる喜びや満足感について理解する。 ・保育者の指導、援助について考える。 	<p>人間関係の発達を理解し、認め合う学級集団の形成について考察</p> <p>理解力・考察力</p>
6回	<p><遊びや生活のなかで育む人間関係> いざこざ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活のなかで見られる、いざこざについて事例を討議し、考察する。 ・いざこざを通して、人との関わりを育む保育者の指導、援助について事例から考える。 	<p>いざこざやについて理解し、援助について考察</p> <p>理解力・考察力・傾聴力・協同性</p>
7回	<p><道徳性・規範意識の芽生え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳性・規範意識の芽生えと人との関わりを理解する。 ・保育者の指導、援助について考える。 <p><協同する経験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同する経験を通して成長する姿について理解する。 ・保育者の指導、援助について考える。 	<p>幼児期の道徳性や規範意識について理解し、指導、援助について考察</p> <p>協同する経験について理解し、指導・援助について考察</p> <p>理解力・考察力・傾聴力・協同性</p>
	<p>定期試験</p>	